

佐々木さんの話に熱心に耳を傾ける3年生



進路や生き方を考えるヒントに

キャリア教育を進める石巻市住吉中(生徒約606人)で11月21日「地域の方々の話を聞く会」(住吉中同窓会主催)があった。各学年が興味のあるテーマについて

石巻・住吉中「地域の方々の話を聞く会」

て、先輩や地域の人から示唆に富む話を聞き、進路や生き方を考えるヒントにした。

3年生(79人)は体育館に集合。元高校教員で石巻

工芸専門学校講師の佐々木潤一郎さん(63)が講師を務め、社会人の心構えや就職先を決める際のポイントなどを説明した。

分を見つめ、自分を磨きをし「ほしい」と即言した。その上で、忍耐力の必要性を指摘し「忍耐力を付けていくのは中学生の時。将来に向けた基礎学力を習得

民間団体で自動車整備士として働き、通信教育で慶応大を卒業。36歳で教員になった経歴を持つ佐々木さんは「中学、高校は社会人になるための準備期間。自

験した佐々木さん。一高校

卒業後の進路について就職を選択する機会、周囲に相談するのはいいが、最終は自分で決めること。自分にとってやりがいのあることが達成感となり、自分の仕事に誇りを持てるようになるから」と話した。

3年生を代表し、福田耕人さん(17)が「一人一人の進路は違ってくるけれど、これからの生活に生かしたい」と話した。